



令和5年11月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

キンメダイの人工授精と仔魚飼育試験の状況

6～10月まで15回の親魚採捕に乗船し、計58尾の親魚を活かしたまま分場に搬入しました。また10月には漁業者に依頼して船上で産んだ卵を保存液入りの保冷ボトルで持ち帰ってもらいました。このうち、8月以降に採捕した雌14尾からの卵と雄7尾からの精子（冷蔵保存精子も活用）により、計5回の人工授精を実施し、心化仔魚を得ることができました。

仔魚飼育の新しい試みとして、クライゼル水槽（右写真）等を使って弱い回転流の中で飼育したところ、6日間は良好に生育しました。しかしその後、活力が落ちて底面に沈降、生存個体が急減し、最終的には最長で10日間の生存に終わりました（昨年度は9日間）。

今後、飼育結果を整理しながら要因を探り、装置の改良や他魚種の成功事例収集など、より長期の飼育の実現に向けて検討を進めます。



↑腹部圧搾による人工採卵



↑心化当日の仔魚
(頭を上にして縦に浮遊)



↑クライゼル水槽

磯焼け講演会 南伊豆町で開催

10月26日に南伊豆町主催の講演会があり、当场職員が「黒潮大蛇行と磯焼け」について講演しました。平成29年に発生した黒潮大蛇行以降、伊豆では海藻カジメの磯焼けが起きています。それに対する関心は高く、漁業関係者だけでなく、議員を含む行政、観光業者、一般の方々を含めて79名の参加がありました。南伊豆町以外からも参加がありました。町では、伊豆漁協南伊豆支所と講演内容を振り返り、今後の対策を検討するそうです。



↑講演の様子

中学生の職場体験学習を受け入れ

10月26～27日の2日間にかけて下田中学校の3年生の生徒2人が職場体験のため来場しました。飼育している魚への給餌や、さらしテングサの袋詰め作業などの仕事を体験しました。また、今伊豆沿岸で問題になっている「磯焼け」についての話を伝え、理解を深めてもらいました。2人とも真面目に熱心に体験に取り組み、当方も心地よく受け入れることが出来ました。この体験を将来の仕事選びに役立ててもらえたらうれしいです。



↑職場体験の様子（飼育生物の観察）

11月の予定 ●資源評価会議（キンメダイ2日、ブリ29日） ●青年・女性漁業者交流大会（8日 静岡市、web発表会場:伊豆分場） ●技術連絡協議会（10日） ●知事広聴「平太さんと語ろう」（15日下田・南伊豆） ●水産・海洋研究発表会（22日 焼津市） ●潜水調査（カジメ磯焼け調査：白浜、田牛）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。